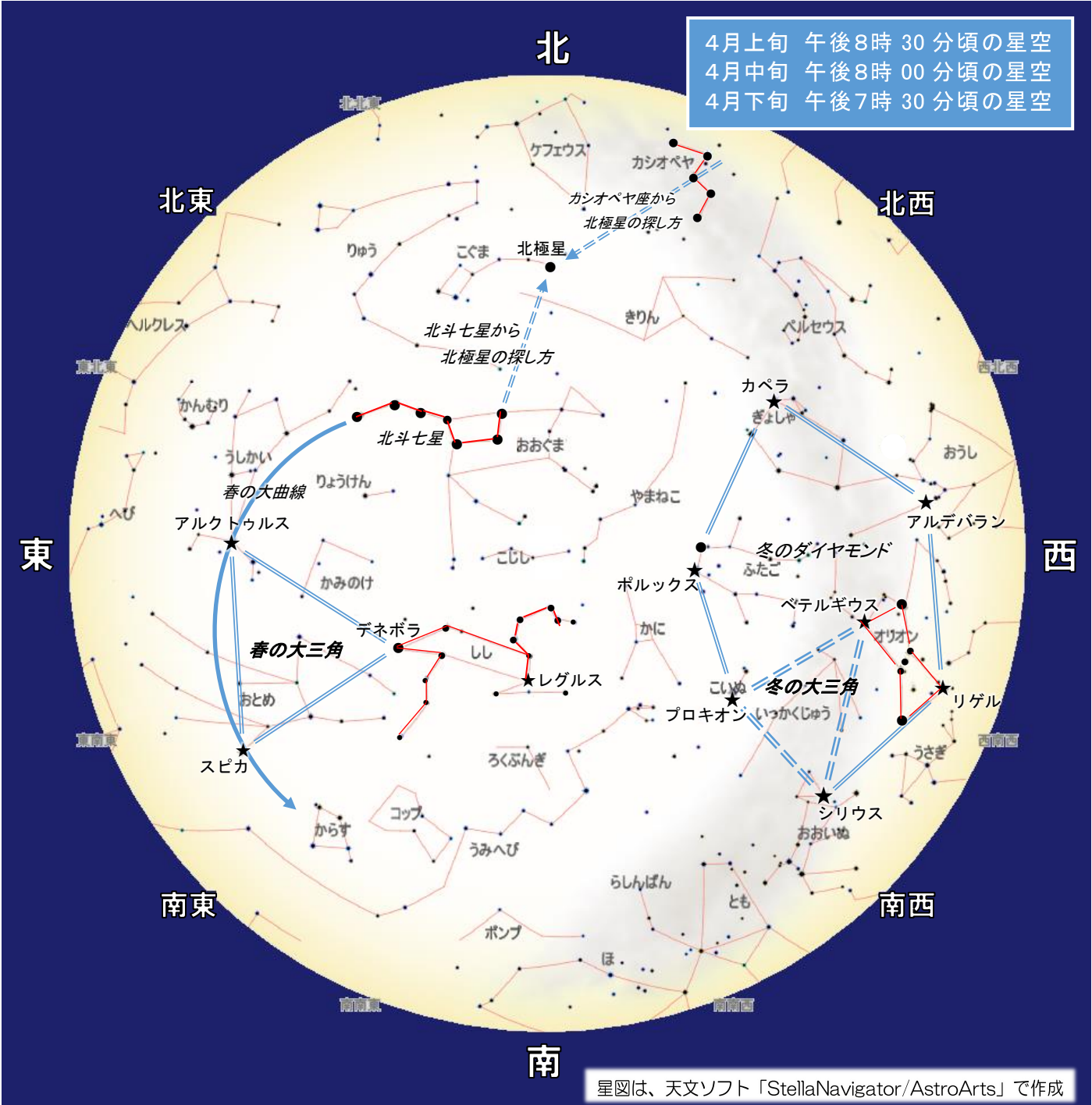


2022年 4月の星空案内



4月上旬 午後8時 30 分頃の星空
 4月中旬 午後8時 00 分頃の星空
 4月下旬 午後7時 30 分頃の星空



【4月の星空】

夕空の西側にはまだ冬の星座が目立ちます。東からは春の星座がのぼってきます。北斗七星の柄の部分延ばすと、オレンジ色に輝くうしかい座の1等星「アルクトゥルス」、さらに先にはおとめ座の1等星「スピカ」が見つかります。南の空高く、太陽の通り道に輝くしし座の1等星「レグルス」は、小さな王様という意味です。『春の大三角』は、しし座のしっぽの2等星「デネボラ」、うしかい座の「アルクトゥルス」、おとめ座の「スピカ」を結びます。

【明け方の惑星たち】

春の夕空には明るい惑星が1つも見あたりません。明るい惑星たちは、明け方の東の空に集まっています。早起きすると、日の出前の東の空に「明けの明星」金星(-4.4→-4.1等)が明るく輝いています。火星(1.0→0.9等)、木星(-2.0→-2.1等)、土星(0.8等)も見えます。下旬(25~27日ごろ)には、細く欠けた月と並んで見えます。